

短歌

末武 有二 選

色変えて白から緑に紫陽花は雨の一日を生き
生きと咲く
惣領 島田 廣子

なにゆゑに炎天の舗道に這い出るや太き蚯蚓
のその身干涸ぶ
安永 守住 孝子

外輪を吹きわたる風心地よく青いすすきの波
間を歩く
木山 赤城 香織

「耳かして」小声でひそひそ五歳児はたった二
人でいる部屋なのに
木山 本田 龍子

墓参り亡父の年齢超え姉妹等と思ひ出話届け
と願う
広崎 日野ヒロ子

大輪の色とりどりの紫陽花は小雨を浴びてか
すかに揺れる
赤井 増岡 伸禧

梅雨晴れに庭の紫陽花うなだれて掛ける言葉
に迷い佇む
広崎 大原 郁

夏の空梅雨一休み赤トンボ稲の若葉は水面消
し行く
惣領 甲斐 道夫

脳細胞刻々死滅するとき嫌な思い出消えず
残り
惣領 垣野 幸一

鈴なりの金柑の実を挽れずに眺めるだけの老
いとなったり
鎌倉 荒井 歌友

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

朝の散歩盆が近いと蝉しぐれ
免許なく小さな旅もままならぬ

小公園メンバー揃い花団子
万緑や深呼吸して朝散歩
もっこすか向日葵一輪西を向く

水満々休耕田は蘇る

赤井 増岡 酔粋
木山 本田 龍子
木山 鎌田 隆子
宮園 米村 盛子
赤井 増岡 伸禧
広崎 大石 高義

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠

新札の津田梅子さん誇りです

銀行で新札もらい神棚へ

旧札の一万円は偉い人

ショーヘイが打てば日本湧き上がる

真夜中に蝉が鳴き出す熱帯夜

月見草雀ねぐらに騒ぐころ

夏休み計画済の孫息子

『お題』 星祭り

七夕は光る宇宙の露はらい

星まつり母と二人の露天風呂

星影を踏んで早立ち海釣へ

図書館で探す宇宙の広さかな

木山 鎌田 隆子
木山 遠めがね
木山 本田 龍子
熊本市 野宮 逸吉
惣領 境 眞木子
惣領 野々口トミニ
赤井 増岡 酔粋
古閑 今村 恒心
木山 太公望 春夫
匿名希望

次回のお題 「団扇」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場
広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財
町文化財保護委員会

連載企画

益城の地名②
地名から土地の
履歴を見つける

先月号では、地名の命名方法と
して「地形や地理的環境を表現し
たもの」が歴史的に古く、簡単な
方法であることを紹介しました。
では、具体的に土地の状態をど
のように地名として表現してい
たのでしょうか。

現在の漢字による地名表記は後
世に当てられたもので、命名され
た当初は視覚的に入ってきた情報
を、共通理解できる「音」で表現す
ることが最も容易であったと考え
られます。

【音で表現された地名の例】

- ・赤星…アカ・ホシ↓開く・干す
↓干拓によって成立した土地
- ・クボ…窪地
- ・ヤ・ヤツ…谷地
- ・ハナ…土地の先端部

土地の状態は「自然現象」で成り
立つことが多く、それは「自然災